

発行者：秦野市議会議員
やひろ伸二



議会だより

連絡先：
〒259-1392 秦野市堀山下1番地
Tel. 0463-88-2777 (後援会事務所)
ホームページ：http://www.shinjiyahiro.com

平成31年 秦野市議会 第1回定例会報告！



秦野市議会第1回定例会(3月予算議会)が2月25日から3月25日の会期で開催され、市長提出議案24件、報告2件、陳情2件、議提議案1件、委員会提出議案1件などを審議・議決し閉会しました。主な内容は以下の通りです。

1. 平成31年度予算を認定

今回の平成31年度一般会計予算は、前年度当初比3.1%増の506億1,000万円で、普通建設事業費や扶助費が増え、過去2番目の規模となっています。

また、他6会計を含めた全体の予算総額でも930億3,700万円で3.2%の増となっています。

将来も高齢化が進み、さらなる扶助費などの社会保障費が増加し、市の財政状況は益々厳しくなることが予想されています。加えて、2021年(令和3年)12月から提供開始を予定している中学校完全給食などにも多額の財源が必要となることから、私は予算執行に際してはコスト意識を持った上で、市民の意識が高まるような予算執行を要望し、賛成した結果、一般会計予算につきましては賛成多数で可決されました。

<一般会計予算で金額が大きい主な事業(職員給与費以外)>

事業名	予算額
生活保護費	34億4,536万円
民間保育所等関係費	32億5,638万円
児童手当給付費	30億9,832万円
市債償還元金	30億7,052万円
障害者自立支援費 介護給付・訓練等給付費事業費	28億4,464万円
公共下水道事業会計繰出金	20億5,000万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	20億4,307万円
介護保険事業特別会計繰出金	18億8,030万円
後期高齢者医療広域連合負担金	14億1,661万円
秦野市伊勢原市環境衛生組合分担金	10億6,658万円
西中学校体育館等施設整備費用	7億1,628万円
電算システム業務費	4億7,919万円
重度障害者医療助成事業費	4億748万円
文化会館維持管理費	3億7,460万円
放課後児童健全育成推進事業費	3億6,930万円
資源分別回収推進事業費	3億5,859万円

<主な新規事業>

事業名	予算額
プレミアム商品券事業費	2億8,050万円
インター周辺整備事業費	4,981万円
学校業務改善推進事業費	1,235万円
表丹沢魅力づくり推進事業費	1,216万円
商業みらいづくり事業費	700万円
工業みらいづくり事業費	700万円
学力向上推進事業費	685万円
商店街店舗魅力アップ事業補助金	550万円
森林セラピー推進事業費	277万円
オリンピック・パラリンピック推進事業費	170万円
大倉高原周辺観光振興事業費	112万円

2. 市職員の不祥事を受け給与を減額

昨年9月、市職員が酒気帯び運転を行い厚木市内で交通事故を起こし懲戒免職になった事案と、市立おおね公園の電気料金の支払い手続きを怠った上、無断で別会社と契約するなど、不適切な処理をした事案について、市民の信頼を著しく損ねた責任の一旦を負うため特別職職員である高橋市長、宮村副市長の給与(期末手当及び地域手当の算出基準の基礎を含む)の3か月分(4~6月)の10%を削減する議案出され、賛成全員で可決しました。

なお、減額の概算金額は下表の通りです。

役職	減額金額(3か月分)
高橋昌和 市長	約55万円
宮村慶和 副市長	約45万円
合計	約100万円

3. 平成30年度補正予算でボルダリング施設



平成30年度、一般会計予算補正(第5号、6号)総額12億2,633万円を追加し506億2,462万円とする議案が出され、それぞれ原案通り可決されました。この補正予算には、市内にある県立山岳スポーツセンターに市がボル

ダリング施設を整備し、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地となることをめざすという目的も含まれています。県の施設には既にリードクライミング施設があり、平成31年度の予算で県がスピードクライミング施設を整備することも決まり、スポーツクライミング3種目全ての施設が整備されます。市長がめざす「都市に近い山岳スポーツの聖地」は前進するのですが、市内には宿泊施設が少なくキャンプ地として不十分な面が心配されます。



▲県立山岳スポーツセンターのクライミングウォール

<主な補正事業>

事業名	予算額
国民健康保険事業特別会計繰出し金	2億6,000万円
国県支出金等返納金	2億3,522万円
ボルダリング施設整備事業費	2億3,502万円
小学校トイレ快適化第二次整備事業費	1億4,390万円
中学校トイレ快適化第二次整備事業費	1億1,196万円

平成31年 第1回定例会 代表質問内容 やひろ伸二



今定例会において、所属会派(民政会)を代表して、市長の「平成31年度 施政方針」に対し12項目の代表質問を行いました。なお、主な内容につきましては、3月29日に発行された地域誌(タウンニュース(秦野版))に「市民協働のまちづくり」「秦野赤十字病院の分娩業務再開と信頼回復」「ごみ減量で無料化継続」「学力向上」などを掲載しましたので、この誌面では、それ以外の内容を記載致します。

地域誌の記事につきましては、右記QRコードを読み取りご覧下さい。

1. 桜土手古墳展示館が歴史館へ!

〔質問〕

2021年度には、新東名高速道路が開通し、本市の魅力は非常に高くなる可能性も出てきている。開通の前後数年が、魅力づくりができるかどうかの岐路となるのではないかと考えている。



▲桜土手古墳展示館

今回の施政方針には、桜土手古墳展示館を2020年度中に総合的な歴史博物館へ移行し、展示環境の整備に着手することが盛り込まれている。歴史には目玉なども必要となるが、考えている目玉とターゲットはあるのか?

〔回答〕

桜土手古墳展示館は、「はだの」の歴史と文化を楽しく学ぶことができ、合わせて市内各地域の個性と魅力を多くの市民、そして市外に発信するとともに、記憶と記録を後世に引き継いでいくことを目的としている。コンセプトやターゲットについては、明確にした上で多岐にわたる「はだの」の特徴的な歴史を紹介していく。

◆◆ 意見要望 ◆◆

葉室麟氏が書いた小説「実朝の首」に登場する



▲源実朝の首塚

武常晴は、源実朝の首を秦野の地に葬り、暗殺された実朝の想いを偲び、首塚の近くに住んで生涯を過ごすというヒーロー的人物に描かれている。

前にも伝えたが、例えば本市の歴史の目玉の一つとして、この武常晴が、何を考え実朝の首を守ることを決めたのかなどをクローズアップしたストーリーで描くと本市の歴史の目玉となる。是非、検討して欲しい。

2. 文化会館のネーミングライツ推進へ!

〔質問〕

これまでもPDCAサイクルは行政運営で非常に大切なことである。昨年9月に行った議員の決算審査「C:チェック評価」により、具体的に「A:アクション改善」がされた事業はあるのか?



▲市立文化会館

〔回答〕

具体的な事業の例としましては、「総合体育館のネーミングライツを実現」の意見を受け、同じカルチャーパーク内での文化会館のネーミングライツについて、平成31年度予算に計上している。

また、「防災行政無線が聞きづらい地域でのSNSの活用」の意見に対しSNSを活用した情報伝達の手段の導入について、より効果的な運用ができるよう予算化に向け検討をしている。

3. 鳥獣被害の対策が急務!

〔質問〕

鳥獣被害による農作物の被害を軽減するため、猟友会の会員等を鳥獣害対策実施隊員に委託し捕獲体制を強化するとある。長崎県五島市では、国の補助制度(2,300万円)を活用し、平成28年度、IoTを活用した鳥獣害対策システムを導入し、鳥獣害対策に力を入れた。その結果、多くの住民が協力するようになり、若者たちも副収入として認知するようになった。



また、日本獣医生命科学大学 野生動物学教室 安富舞氏は、「鳥獣対策を担当する市町村の職員は、事務職系の方々が多く、鳥獣に対する専門的な知識がなく資格なども持っていない。また、3年程度で職場異動となる。このような状況では、鳥獣対策は難しい。」と言われていた。本気で鳥獣対策をするつもりなら、民間から経験者採用してはどうか?

〔回答〕

本農産物被害の軽減に直結する、シカ、イノシシの個体数の削減が、最優先課題だと認識している。

担当課の職員は、被害防止に関わる知識や技術の習得のため、研修会や勉強会に積極的に参加することで、その知見を広めている。平成31年度も、鳥獣被害対策に精通した職員育成のための専門研修会に参加する予定である。今後も知恵を結集し、市域の鳥獣被害対策を進めていく。

◆◆ 意見要望 ◆◆

小田原市は、センサーカメラを使った調査で最低9頭のイノシシの生息が確認でき、1か月4,000円の出資で、わなの購入費用などを負担してもらう「わなオーナー制度」を導入する。オーナーには狩猟・解体や農業体験で還元する仕組みを構築し、昨年11月から3か月間で首都圏から31人が参加するようになった。是非、参考にして検討して欲しい。